



研究キーワード 緑地環境, グリーンインフラ, 社会・生態・テクノロジー系, レジリエンス, 気候変動

加藤 禎久

准教授

KATO, Sadahisa

所属…環境学部 環境学科 大学院 環境経営研究科 環境学専攻

■専門分野 緑地計画学, エコロジカル・プランニング, 自然に基づく解決策 (NbS)
現在の研究テーマ

- ・自然の恵みを土地利用計画や社会資本整備に活用するグリーンインフラに関する研究
- ・インドネシア・バリ島における伝統的緑地の統合的機能評価に関する研究
- ・鳥取県若桜町・八頭町の農山村地域の持続可能性に関する未来シナリオ分析研究

■著書

- ・[Green Infrastructure Planning for Asian Cities: The Planning Strategies, Guidelines, and Recommendations], 2021年, 『Urban Biodiversity and Ecological Design for Sustainable Cities』, Springer
- ・[決定版! グリーンインフラ] (共編著), 2017年, 日経BP社

■論文

- ・[Landscape metric sensitivity to grain size in rural Japan] (共著・筆頭), 2024年, 『Landscape and Ecological Engineering』 20: 285-298, DOI: 10.1007/s11355-024-00611-y
- ・[Human Flow Dataset Reveals Changes in Citizens' Outing Behaviors including Greenspace Visits before and during the First Wave of the COVID-19 Pandemic in Kanazawa, Japan] (共著・責任), 2022年, 『International Journal of Environmental Research and Public Health』 19(14): 8728, DOI: 10.3390/ijerph19148728
- ・[Land use management recommendations for reducing the risk of downstream flooding based on a land use change analysis and the concept of ecosystem-based disaster risk reduction] (共著・筆頭), 2021年, 『Journal of Environmental Management』, DOI: 10.1016/j.jenvman.2021.112341

■所属学会

国際景観生態学会 (IALE), 日本造園学会, 日本景観生態学会, 日本都市計画学会, 日本建築学会

■取得学位 Ph.D. (Ecological Planning) (University of Massachusetts Amherst, USA)

■略歴

- 1996年5月 米国ミシガン大学自然資源・環境学部卒業
- 2003年4月 米国ミシガン大学大学院自然資源・環境学部実務家養成修士課程修了, MLA
- 2010年5月 米国マサチューセッツ大学大学院景観建築・地域計画学科博士課程修了, Ph.D.
- 2011年9月 茨城大学地球変動適応科学研究機関 (ICAS) 共同研究員, IPCCチャプターサイエンティスト
- 2016年4月 岡山大学グローバル人材育成院准教授
- 2021年4月 公立鳥取環境大学環境学部准教授
- 2021年10月 公立鳥取環境大学環境経営研究科環境学専攻准教授
- 2023年10月 鳥取大学大学院連合農学研究科 指導教員資格者 (D合)

■主な担当科目 グリーンデザイン, 都市の自然環境形成, 景観計画と保全管理

 s-kato@kankyo-u.ac.jp

 https://researchmap.jp/sada_kato

《先生からの一言》

洪水や土砂崩れなどの被害を抑え, レジリエントな社会を構築するには, 従来の土木インフラを補完する形で自然の恵みを生かしたグリーンインフラの活用が求められています。一緒に気候変動に適応した緑地・ランドスケープ計画を考えてみませんか。



岡山市水道局の壁面緑化と緑化駐車場にて